

うじたわら

議会だより

No. 100
2019.8.1



《目次》

議会だより100号までの歩み.....	2 p～3 p
定例会・表決結果.....	4 p～5 p
一般質問.....	6 p～15 p
視察研修報告.....	16 p～17 p
住民と議会の懇談会.....	18 p
インタビュー(にこにこサロン老中の皆さん).....	19 p

＝にこにこサロン老中＝
楽しい余興に おいしいお料理
しゃべって笑ってボケ防止

宇治田原町議会だより 100号までの歩み

デザインを変更。
表紙写真は毎回苦労します。

第93号 2017(平成29)年11月1日



現在の編集委員

- | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 山内美貴子 | 馬場 哉 | 藤本 英樹 | 浅田 晃弘 | 山本 精 | 松本 健治 | 今西久美子 |
| 副議長 | 委員 | 委員 | 委員長 | 副委員長 | 委員 | 委員 |

第100号 2019(令和元)年8月1日



創刊号 1994(平成6)年11月2日



第14号 1998(平成10)年2月8日



デザインを変更。
カラーにしました。

第35号 2003(平成15)年5月11日



創刊当時の編集委員

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 清水 兵造 | 上野 久三 | 西尾 久一 | 山本 康和 | 下岡 周之 | 安田 建男 |
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 委員 | 委員 |

デザインを変更。
写真を一枚にしました。

第62号 2010(平成22)年2月1日



第50号 2007(平成19)年2月1日



住民のみなさんに登場して
もらおうと、「インタビュー」
記事の掲載を始めました。

第46号 2006(平成18)年2月1日



一般質問の記事を1人半ページだったものを1ページに拡充。

デザインを変更。
表紙を全面写真にしました。

宇治田原町議会だよりは、1994年(平成6年)の11月に創刊して以来、議員の手によって、より分かりやすいものにと創意工夫を凝らし、定例会ごとに発行してきました。今回、記念すべき100号を迎えるにあたり、その変遷を振り返ってみました。

6月定例会

天皇御即位 賀詞決議

決議第1号 天皇陛下御即位奉祝賀詞決議

天皇陛下におかせられましたは、風薫る5月の良き日に、ご即位されましたことは、誠に慶賀に堪えないところであります。

天皇皇后両陛下の益々のご清祥と、令和の御代の末永き弥栄をお祈り申し上げます。

ここに宇治田原町議会は、住民を代表して、謹んでお祝い申し上げます。

令和元年6月11日

宇治田原町議会

令和元年第2回定例会は、6月6日から20日まで開催した。予算関係1件(補正予算)、条例関係7件(改正7件、うち専決3件)、一般議案2件が提出され、いずれも原案通り可決・承認した。また、天皇御即位奉祝賀詞決議を全会一致で可決した。一般質問には、9人の議員がたち、活発な議論を展開した。

京都府地方税機構規約の変更(議案第23号)
京都府地方税機構が処理する事務に、新たに償却資産に係る申告書等の受付等を追加するとともに、税制改正に対応するため、規約を変更することについて議会の議決を求めるもの。

反対討論
土地の取得について(議案第22号) 山本精議員
防災機能を備えた広い公園が必要なのは認識している。財政が厳しく、また毎年おこる甚大な被害から住民の命や生活を守るために優先すべき課題が多くある。都市公園を山砂利採取跡の軟弱地盤に造ることは問題がある。

反対討論
京都府地方税機構規約の変更について(議案第23号) 今西久美子議員
本規約の改定は、税機構が狙う「課税実務の集約化」をさらに加速させ、地方自治体を住民の暮らしに心寄せ相談する立場から「税金を取り立てる行政」へと変質させるもの。

総務建設常任委員会

土採取事業の規制に関する条例の一部改正(議案第20号)
町内の無秩序な土採取事業をなくし、生活環境の破壊及び災害の防止を図るために、罰則規定の強化について改正を行なうもの。

罰則規定の強化をするという議案であるが、今までに懲役や罰金に処された事例が町内にあったのか。
答 平成24年度に盛土条例の方で1件、罰金という事案があった。

罰則規定の強化をするという議案であるが、罰金に処された事例が町内にあったのか。
答 平成24年度に盛土条例の方で1件、罰金という事案があった。

罰則規定の強化をするという議案であるが、罰金に処された事例が町内にあったのか。
答 平成24年度に盛土条例の方で1件、罰金という事案があった。

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正(議案第19号)
災害弔慰金の支給等に関する法律が改正され、貸付利率の引き下げ、保証人の必置を見直すなどを条例で設定できるようにすることを踏まえ、条例の一部を改正するもの。

保証人が必置である旨は記載されているのか。
答 保証人等を立てなければならぬと記載されている。保証人を立てなくてもよいということになれば、きちんと償還されるのか。
答 償還等については、国、府の資金の貸し付けになるため、充分な見極めをする中で制度運営をしていきたい。

予算特別委員会

一般会計補正予算(議案第17号)

プレミアム付商品券発行事業について、対象となる住民税非課税世帯の方が、プレミアム付商品券を使用する際の配慮が必要だと意見したが、協議しているのか。

一般会計補正予算(議案第17号)
プレミアム付商品券と同じような扱い(外見)にできないかという観点で商工会と協議中であるが、具体的な決定には至っていない。

新庁舎建設事業の債務負担行為について、什器等の再利用を望むが、新規購入の場合との金額の差は把握しているのか。
答 現在使用しているものを転用することについて、原課と協議を進めて

○賛成 ●反対 ▲退席 一欠席

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	藤本	浅田	山口重	谷口重	松本	馬場	原田	田中	垣内	今西	山本	山内	
決議	決議案第1号	天皇陛下御即位奉祝賀詞決議について(天皇陛下の御即位を奉祝する賀詞決議)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	議案第17号	一般会計補正予算(第1号)(学びの深化プロジェクト実施校研究事業など)【188万8千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第18号	宇治田原町税条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	宇治田原町土採取事業の規制に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(罰則規定の強化による条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	宇治田原町土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(罰則規定の強化による条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	宇治田原町税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について(法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について(法施行令等の改正に伴う条例の一部改正)	✓		可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	宇治田原町介護保険条例の一部を改正する条例制定の専決処分について(法施行令等の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第22号	土地の取得について(新市街地都市公園用地の取得)	✓		可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	京都府地方税機構規約の変更、事務の追加等	✓		可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎谷口整議長は賛否同数以外は表決に加わりません

ズバリ! 町政を問う

一般質問

6月11日~12日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

質問者	質問事項
1 今西久美子 (7 p)	1. 子どもの安全対策の強化について 2. 防災対策について 3. 通級指導教室について
2 松本健治 (8 p)	1. 政治意識(参加)の向上について 2. 「近助」による防災活動について
3 田中 修 (9 p)	1. 不法投棄、ゴミのポイ捨て問題について 2. 情報伝達システム整備について 3. 防犯対策について
4 谷口重和 (10 p)	1. 公共施設のあり方について 2. 東京オリンピック、パラリンピックに向けて 3. 新庁舎完成に向けて ●ため池余水吐けについて

●印の質問情報は本誌には掲載されておりません

質問者	質問事項
5 浅田晃弘 (11 p)	1. 子育てと学びを応援するまちについて 2. 健やかに安心して暮らせるまちについて 3. 生涯スポーツについて
6 垣内秋弘 (12 p)	1. 宇治木屋線について 2. 消費税 10% 対応について 3. 幼児教育の今後について 4. 子どもの安心・安全について
7 馬場 哉 (13 p)	1. 国際交流について 2. 財政運営について
8 山本 精 (14 p)	1. 交通安全対策について 2. 宇治田原町の自然を守る対策について
9 原田周一 (15 p)	1. 新庁舎建設について 2. 教育施策について

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

子どもの安全対策強化を

【答】バリアケード等の安全対策を講じる

【質問】

子どもが犠牲になる交通事故や事件が後を絶たない。

保育所の散歩ルートでも安全対策が必要では。

【答弁(建設環境課長)】
大津市での交通事故を受け、急ぎよ調査を実施し、一部交差点についてはバリアケードの設置等安

全対策を講じていく。

【質問】

学校や保育所周辺をスクールゾーンとして指定し、道路標示や啓発看板などで通行車両に安全を促す工夫を。

【答弁(学校教育課長)】
実現に向け関係部署等と調整を図る。



制限速度 20 km/h の保育所横の町道

危機管理はどいつがしているのか

【答】認識が甘かったと反省している

【質問】

昨年9月議会で、災害時にサブ拠点となる文化センターに発電機が設置されていないと答弁があったが、その後の追跡調査で「完了した」とある。いつ設置されたのか。

【答弁(総務課長)】

平成25年9月議会で補正計上し、年度内に完了した。

【質問】

町の防災の担当課が、発電機の設置を把握していなかったとは、危機管



今西久美子 議員

通級教室へ送迎できない場合は

【答】保護者の送迎が原則

【質問】

特別に支援が必要な児童に対し、田原小学校で通級指導教室を開設しているが、宇治田原小学校の児童は保護者の送迎が必要となる。仕事などで保護者が送迎できない場合の対応策は。

【答弁(学校教育課長)】

現段階では保護者の送迎とする。

【質問】

送迎できない場合の対応を聞いている。必要ない児童が通えるようになるのは、町の責任では。限られた開設校の中で事業を実施している。府教育委員会に対し、宇治田原小学校への開設を要望していく。



田原小学校に開設されている通級指導教室

選挙投票率低下の現状認識は

【答】若い頃から政治への関心を高める



松本健治 議員

【質問】

4月に執行された統一地方選挙では、本町の投票率が43・95%と低下傾向が続く。その現状認識は。

【質問】

まで政治や行政において、民意が反映されているのか懸念される。このまま投票率が低下し続けることは必ず防がなければならない喫緊の課題であり、若い世代にも政治やまちづくりへの意識を高めるよう努める。

【質問】

若者を審議会委員に選任することや、児童・生徒の提案や意見を取り上げる仕組みづくりも「主権者教育」につながるのでは。

【質問】

女性の政治(町政)参加については、色々な機会を通じて、また諸施策を講じることによって「機運」を高めることが大切では。

【答弁(副町長)】

男女が共同して政治の分野などに参画し、本町のまちづくりのみならず、国や地域社会に対して活躍されることは、大変意義深い。自立した主権者として選挙権を行使してもらえるよう、様々な周知・啓発に取り組んでいるところで、行政のみならず区や各関係団体と連携し「機運」を高めたい。



有権者は揃って投票しましょう

ゴミのポイ捨てモラルの向上を

【答】近隣自治体に協力体制を提案する



田中修 議員

【質問】

不法投棄やゴミのポイ捨てが国道307号や南バイパス、犬打峠、その他隣接する市町の境界付近で多く見られる。町内のポイ捨て禁止等の看板も老朽化しており、リ

【答弁(建設環境課長)】

ニューアルし、視覚的に訴える看板の設置を。【答弁(建設環境課長)】看板のリニューアルと視覚に訴えるデザインへ新たに設置を行う。

【答弁(建設環境課長)】

カメラを1台保有しており悪質な不法投棄が頻発する場所に活用する。【質問】不法投棄やポイ捨ては、本町住民だけでなく、本町を通過する心無い人たちにより行なわれ

【答弁(副町長)】

ている。近隣自治体に働きかけ、不法投棄をしないようモラル向上のための協力体制を構築できないか。【答弁(副町長)】広域圏でのモラル向上を近隣市町や関係団体に提案していく。

緊急情報を室内で受信可能に【答】スマートフォンを活用する

【質問】

緊急時の情報伝達を長距離スピーカーで行うが、大雨等で締め切った家屋の中では聞こえない。IP告知システムを活用した個別受信機等で

【答弁(副町長)】

屋内においても情報伝達できるようにするべきでは。【答弁(副町長)】現時点ではスマートフォン専用アプリの利用を考えている。

近助の精神による防災活動に【答】参加者の顔が見える取り組み

【質問】

災害多発の日本では、いつ、どこで災害が発生するのかわかりません。【答弁(副町長)】

【答弁(副町長)】

が、有事の際の被害を最小限にとどめ、減災につながる重要なものである。本町でも参加者の顔が見える小規模・小集団、各地区での防災訓練や勉強会を各自自主防災会と相談して「近助」の取り組みを進める。



小さい単位での防災訓練が「近助」に

特殊詐欺から住民を守る対策を【答】警察と連携し注意喚起を行う

【質問】

オレオレ詐欺やアポ電詐欺被害が発生している。田辺警察署管内では、被害防止のため緩急防犯協会や京都府電気商業組合の協力により、音声メッセージや録音機能の付いた防犯機能付き電話機への変更が推奨されている。本町としての対応は。

【答弁(町長)】

警告が流れ、通話内容を録音する防犯機能付き電話機の導入は、有効な手立てである。特殊詐欺にあわないための心構えなど町広報紙等により周知・啓発を行い、田辺警察署や防犯関係団体と連携し、住民が被害にあわれないよう注意喚起に努める。



ゴミのポイ捨て(南バイパス)



特殊詐欺防止啓発チラシ

公共施設跡地はどうする

【答】できる限り早期に方向性を示す

【質問】 新庁舎が来春に完成するにもかかわらず、未だ現役庁舎跡地の活用が決まっていないとは解せない思いである。財政

面からもそれ程余裕はあ

【質問】

【答弁(町長)】

新庁舎が来春に完成するにもかかわらず、未だ現役庁舎跡地の活用が決まっていないとは解せない思いである。財政判断が必要では。



谷口重和 議員

【答】商工会などと連携し支援していく

オリンピックで町のアピールを

【質問】

【答弁(副町長)】

東京オリンピックを控え、地元特産品を世界に向けて販売促進、アピールをしていかなければならない。オリンピックに備えハートの町、宇治田原町の特産品の商品開発等を事業者などに斡旋すべきでは。



現庁舎の跡地利用は

新庁舎完成イベントを

【答】完成式典の実施を検討する

【質問】

【答弁(副町長)】

素晴らしい新庁舎完成を起爆剤として、住民の気持ちを盛り上げるべく完成イベントを実施しては。



来春完成予定の新庁舎(イメージ図)

所外保育時の安全確保を

【答】詳細に確認・点検を行った

【質問】

【答弁(副町長)】

大津市の事故や千葉県市原市の事件など、保育児や保育士が巻き込まれる事故が発生している。所外保育時の配慮点などの検討は行っているのか。

意識の徹底はもとより、保育士の配置場所や交差点で信号待ちの際の待機方法、歩行ルートの下見、危険個所の有無、A

E D設置場所の確認など、安心安全な保育環境の確保を図るため、関係部署がしっかりと連携していく。



浅田晃弘 議員

生涯スポーツの推進を

【答】振興プランの改定を行う

【質問】

【答弁(教育長)】

第5次まちづくり総合計画において、スポーツ指導者の養成やボランティア体制の充実が掲げられている。現在活躍中の少年少女のスポーツ指導者の会議を設ける中で、次世代の指導者の養成や体制づくりについて、本年度改定の「生涯スポーツ振興プラン」の中で検討していく。



保育所の所外活動

熱中症「ゼロ」のまちの達成を

【答】全庁挙げて熱中症予防

【質問】

【答弁(町長)】

昨年8月の全国での熱中症による緊急搬送では、高齢者が最も多く発生場所は住居であった。正しい知識を身につけ、適切に予防することが大事であると思うが。



スポーツを楽しむ住民の皆さん

宇治木屋線トンネル等進捗状況は

【答】掘削までに狭隘区間のバイパス化

【質問】

府道宇治木屋線は平成29年度に事業化され、新名神の完成時期に合わせ令和5年の完成をめざし取り組まれている。犬打峠トンネル工事と併せ、橋梁工事、周辺狭隘部分の道路整備、土砂の搬出

先及びルート等、全般の概要計画と進捗状況は。

【答弁（建設環境課長）】

平成30年度までに用地測量、道路・橋梁の詳細設計が完了。併せてトンネルの地質調査、詳細設計を実施。トンネルの掘削工事が始まる前に、南

地域の狭隘道路のバイパス化を図る計画である。

土砂の搬出先ルートは京都府で検討中である。



垣内秋弘 議員

消費税軽減税率の準備と対応は 【答】商工会と連携し周知に努める

【質問】

10月から消費税が10%に増税されるが、大型事業を抱える本町への影響は。また、軽減税率の導入で小規模事業者や一般住民も戸惑いがある。説明や指導、周知徹底は。

【答弁（産業観光課長）】

前年度契約したものは経過措置により8%の消費税を適用。軽減税率制度は小売り及び流通段階での支援制度を創設する。商工会と連携し混乱が生じないように周知に努める。

どう変わる今後の幼児教育は 【答】幼児教育無償化に備え詳細を検討

【質問】

うぐいす幼稚園は少人数で運営が厳しい。強固な連携と支援策は。ま

【答弁（学校教育課長）】

英語力の向上には、学んだことを実践で生かすことが重要。帰国したALTを介して手紙の交流は手段の一つ。中学生自身の成長や、英語人材育成、ま



子どもの通学風景

【答】防犯対策の取り組みを強化する

【質問】

先般、川崎市で発生した児童殺傷事件を受け、登校時の安全を担保していくための対応策は。

【答弁（教育長）】

防犯プラン5項目を基に関係機関が連携を取りながら対応している。今後さらに取り組みを強化し、児童生徒の安全確保につなげる。

国際交流を若い人たちに

【答】英語力向上は実践が重要

【質問】

お茶を通して中国雲南省との交流が続いているが、英語圏の国との交流をめざし、中学生の国内イングリッシュキャンプ参加など、今後国際交流事業は、若い人達に活躍してもらおうのか。

【答弁（総務課長）】

京都府などの関係機関との連携により、英語圏の交流先の調査を進めながら、将来のまちづくりを担う若い世代を中心に、国際交流の裾野が広がるような事業の在り方を検討していく。



馬場 哉 議員

【質問】

本町で教育事業に携わり帰国したALT（外国語指導助手）の協力で、現地のジュニアハイスクールの生徒たちと中学生が、町の暮らしや産業を紹介しあう手紙や動画での交流を研究しては。

【答弁（学校教育課長）】

英語力の向上には、学んだことを実践で生かすことが重要。帰国したALTを介して手紙の交流は手段の一つ。中学生自身の成長や、英語人材育成、ま

総合計画見直しと財政運営は 【答】財政面の視点を入れ議論する

【質問】

財政運営は、シミュレーションが示す通り大変厳しくなっている。まちづくり総合計画については、行政改革はもちろん事業評価もキッチリ取

【答弁（企画財政課長）】

り入れ、収支均衡を保ち持続可能な計画の見直しが必要。策定委員会は、住民の方々のご意見を聞かせていただく機会であり、今後の行政運営について「あれもこれも」で



総合計画策定委員会

は、期間中に大型投資事業の実施により財政的に厳しい状況から、健全財政の視点を入れた議論を行っていききたい。

【質問】

町はスクラップ&ビルドを言うが、どう実施し

【答弁（総務部長）】

3月の予算特別委員会での審査だけでなく、じっくり時間をかけて議論する必要があります。この議論を踏まえた上で、スピード感をもち、持続可能な健全財政に向け進めていく。



帰国したALTを国際交流に

岩山バイパス三差路に信号機を

【答】関係機関に引き続き要望する



山本 精
議員

【質 問】 宇治田原大石東線の新名神高速道路岩山地区工事現場付近の三差路は見通しが悪く、いつ事故が起きてもおかしくない状況になっている。交差点に信号機の設置を関係機関と検討するということ

【答 弁】(総務課長) 信号機の設置については、交通量・道路状況など勘案し、府下全域で緊急度の高い順に設置されている。引き続き要望していく。

【質 問】

岩山の旧道への大型車の誤った進入がある。直進禁止の看板もあるがそれも信号機の設置で分かりやすくできるのでは。

【答 弁】(総務課長)

ドライバーへの街頭啓発を引き続き実施し、悪質なドライバーに対しては、警察に連絡して情報共有を行い、パトロールやスピード違反、一方通行の取り締まり強化を継続要望していく。



信号がほしい岩山バイパスの三差路

【答 弁】(総務課長) 一時停止や大型車両等の進入禁止についても、現地交差点での警察官による立ち番の指導を実施していただいている。

自然を守る里地里山条例の制定を

【答】条例の制定は考えていない

【質 問】

山砂利採取やその跡地へのソーラーパネルの設置、道路建設などで、里山が減っている。山林や田畑の役割は、景観、防災、環境保全からも重要である。各地で里地里山条例を制定している。本町でも制定しては。

【答 弁】(建設環境課長)

無秩序な開発を抑制し、住民の住環境を守るために、町土採取事業の規制に関する条例等により自然環境に留意した開発を誘導している。また、環境保全に取り組む団体との協働により、住民の皆様と一緒に自然と調和したまちづくりを推進している。現時点では里地里山条例の制定を考えていない。



自然と調和したまちの風景

庁舎建設不当・違法ビラの見解は

【答】これまでの手続きが認められた



原田 周一
議員

【質 問】 昨年6月「役場位置の設置条例の一部を改正する条例」が可決されたにも関わらず、新庁舎建設及び都市公園の支出は不当・違法との見出しと共に「監査請求を提出」とのビラが投函されたが、町の見解は。

【答 弁】(副町長)

監査委員より「請求を棄却する」との決定がなされた。これまでの取組

みや手続きが認められた結果である。事業地については新名神高速道路や宇治田原山手線、南北線等の整備により、アクセスに優れ、地質調査結果も全く問題のない場所である。また、財政については有利な財源の活用を考えている。住民合意についても批判を受けることはない判断している。

【答 弁】(町長)

1期目の平成25年12月に意見も聞く中で、耐震改修から庁舎建設へと方針転換の決断をした。庁舎建設は2期目の公約であり、「道づくり」「未来づくり」「拠点づくり」の最重要3本柱を推進することが重要と考えている。建設費用にも注視しながら、安心安全はもとより、地域活動、新都市創造ゾーンの都市機能を牽引する極めて重要な旗印とすべく、計画的に事業推進を図っている。監査委員の判断は取り組みが認められたものと確信している。

不登校の現状と対応は

【答】小学校0・中学校11名

【質 問】

不登校の児童生徒に対して対症療法的なものが多く、予防的なものはほとんどない。不登校の現状、対応は。

【質 問】

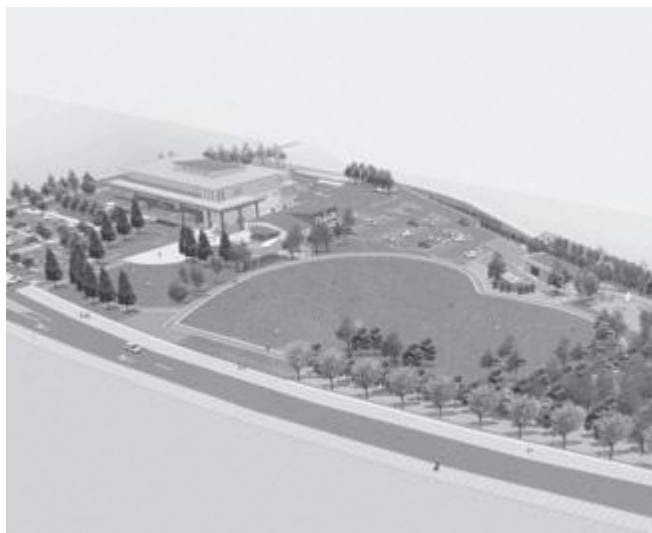
家庭教育支援条例を制定して行政が支援を行う必要があるのでは。

【答 弁】(学校教育課長)

両小学校0、中学校11名で、要因は様々であるが、家庭や自身の将来への不安、友人関係をめぐる問題を要因とする場合が約半数を占める。孤立せず円滑な関係を結ぶた

【答 弁】(教育長)

平成31年度目標の1つに学習支援を掲げ、「家庭の教育力向上」をあげている。不登校の未然防止・引きこもり等の解決からも、条例は研究課題である。



住民に期待される新庁舎

【質 問】 請求棄却の判断は同感である。ビラの配布は監査委員の回答前で、これまで町の最高決定機関で審議・議決していることを違法と指摘され、憤りを覚えるが、いかがか。

【質 問】 山砂利採取やその跡地へのソーラーパネルの設置、道路建設などで、里山が減っている。山林や田畑の役割は、景観、防災、環境保全からも重要である。各地で里地里山条例を制定している。本町でも制定しては。



元気に毎日通学

研修報告

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会では、7月4日・5日、女性消防隊（広島県広島市）、付加価値農業施策（同県神石高原町）について視察研修を行った。

広島市安佐南区

1時間に115mmもの豪雨により、土石流が発生し、死傷者145人、4700棟が被災した平成26年の広島豪雨災害。その中で、安佐南地区



広島市安佐南区
(土石流災害現場)

の女性消防隊の活動について説明を受けた。

●女性消防隊の組織と具体的な活動内容について
●市内各地区の消防団に属し、全体で約151名の女性団員が在籍し、本地区では21名が防災広報

活動、お年寄り宅への訪問、自主防災組織への指導・助言を主な活動としている。

○災害当時の避難所運営や運営について

●避難所での活動は、トイレ清掃等の衛生管理の徹底、段ボールベッドの設置など、女性ならではの視点から細やかな気配りで避難所運営を行った。

◆視察での所感

女性消防隊のみならず、それぞれ家庭を持ちながらも、地域のために活動をされていることに敬意を表する。特に災害時の避難所では、気配りが行き届いた運営が必要であることを理解した。本町でも行政や区自主防災会等において連携した協議が必要であると感じた。

神石高原町

本町とほぼ同じ人口ながらも、敷地面積が約7倍。畜産と農業が主な産業であるまちのブランディング（地域全体の付加価値を上げる）策と、有害鳥獣対策について説明を受けた。

○JIN（神）プレミアムブランドについて
●「ひと・もの・こと」まちにおいて、これら資源をどのように活かしていくかは、この自治体でも課題である。特産品を中心に5件の登録を行い、首都圏での直売などに力を入れている。

一方、ものだけでなく、ひと（人）やこと（時間）のブランディングはわかりにくく、住民に浸透しきれていない。



神石高原町

○山間部共通の悩みである有害鳥獣対策について
●イノシシ・サル・シカの被害がある。捕獲計画の確実な遂行のため、猟友会との連携等で昨年度は計画を上回る1000頭のイノシシを捕獲した。また、防護柵等の補助、サルの行動把握などの取り組みを実施している。

◆視察での所感
地域資源をどう活かすか、ブランディングにつなげていくのかは、山間部自治体の共通の課題である。産業間の連携を具体化させることが解決につながるならば、長い目で見て担い手人材の育成が必要であると感じた。



研修報告

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、7月11日・12日、高齢者支援施策（富山県朝日町）、子育て支援施策（石川県内灘町）について視察研修を行った。

富山県朝日町

朝日町の高齢化率は県内で最も高く、保健・医療・福祉関係機関の連携を強化する中、買い物困難な高齢者への支援として「移動販売」の活動

や、町民の健康を守る町立総合病院の取り組みについて説明を受けた。
○「移動販売」とそれを支えているシルバー人材センターの活動内容について

●買利物難民をなくすため、町民の健康を守る町立総合病院の取り組みについて説明を受けた。

○町立あさひ総合病院について
●富山大学の付属病院として、新潟県を含む周辺自治体5万人規模の人口ベースを12人の医師と約150人の職員で運営している。

◆視察での所感

高齢者支援として、シルバー人材センターを活用した移動販売や見守りネットワークなど、高齢化が進む本町でも取り入れられる施策が数多くあるように感じた。



朝日町

石川県内灘町

内灘町は、数多くの文学作品的舞台となり、多くの作家に愛されてきた。現在は金沢市のベッドタウンとなっている。子育て支援施策について説明を受けた。

○「マイ保育園登録制度」及び保育園の状況について
●核家族が進むもとで子育て家族の育児の負担感・不安感の解消のため、平成18年度より実施。妊娠中から就園までの間に、身近に相談できるかかりつけ保育園として子育てを支援する。町立保育所2か所、民間保育園4か所、認定こども園3か所あり、保護者が希望する施設に登録でき、待機児童はいない。

○子ども医療費助成について
●平成25年度より、子供医療費助成を18歳まで、通院・入院ともに拡充。住民からの要望ではなく、子供の健全育成と保護者の経済的負担を軽減することを目的として実施している。町内には金沢医科大学があり、病児保育など医療関係は充実している。

◆視察での所感

どの自治体も少子高齢化に頭を悩ます中、「マイ保育園登録制度」をはじめ、延長保育、夜間保育など子育て支援に力を入れている。また、18歳までの医療費やインフルエンザワクチンなど任意予防接種の費用を助成するなど、子どもの成長に手厚い施策であると感じた。



内灘町

にこにこサロン老中

の皆さん

平成13年12月にスタートし、2カ月毎の開催で、今回が105回目となる「にこにこサロン老中」に参加されている皆さんに、楽しく長く続けられる秘訣をインタビューしました。



Q. サロンの内容はどのようなものですか。名物がありますか。

A. ボンクラウン（男性スタッフ）による余興が毎回あり、参加者を楽しませてくれます。準備もマメにしてくれる男性が大勢いてくれて、ありがたいです。それから何と言っても、毎回必ず手作りで美味しいお弁当を、女性スタッフが楽しみながらワイワイと準備してくれます。それぞれ自主的によく動くスタッフが老中サロンの自慢です。最後は全員で、「ボケない音頭」を歌い、大声で笑い、次回を楽しみに帰ります。



女性スタッフのみなさん

Q. 地域には様々な行事がありますが、サロンの継承、世代間の交流については。

A. スタッフとして参加させてもらうことによって、自分も楽しめるのが、この取り組みのいいところ。いまは私たち世代が中心だが、地域には、「地藏盆」や「校区の学社連携」など三世代の交流があり、児童・保護者とも仲良くなれる。様子を見て自然と次の世代に伝わればと思う。

Q. 議会だよりが100号、サロンが105回。皆さんの100にまつわる話をお聞かせください。

A. なんちゅうても、健康で100歳まで元気に過ごせることがいちばんやね。

A. みんな輪投げゲームで簡単に100点とらはるけど、わたし取ったことないねん。100点取りたいわ。

A. 余興の景品とか、100均の店に行きますねん。あれ、楽しいですわ。一日中いたいですわ。

ワールドカフェ方式での「住民と議会の懇談会」 テーマ「子育て」にやさしいまちづくり



一連の取り組み経過

①懇談会(ワールドカフェ方式)の実施

- ・日時：平成31年2月11日(月・祝)14時～16時
- ・参加者：各種団体10名、一般公募6名、計16名(傍聴者2名)、議会(議員)11名
- ・内容：第一部 報告「子育てに関する議会の取り組み」
第二部 懇談会
- ・テーマ：「子育て」にやさしいまちづくり

②ご意見の集約

- ・お聞きしたご意見・ご要望について、議会運営委員会、議員協議会で協議・集約し、議長名で町長に文書で提出し説明

③各常任委員会で協議

- ・両常任委員会で対応策等を協議し、回答内容をとりまとめ(ご意見の全29項目から下欄に一部を抜粋掲載)

要望と回答(一部)

【要望】 育児用品購入費助成のレシートを集めるためのポケットなどがあれば。
【回答】 簡易封筒により、実施対応済み。

【要望】 子育て支援医療を高校生まで拡大を。
【回答】 他の子育て支援施策を総合的に判断する中での対応と考えている。

【要望】 緑苑坂は路線バスには運賃が必要で、子育て世代や高齢者に負担が大きい。
【回答】 今年度7月から、緑苑坂の路線バス利用に補助券を配布。

【要望】 出産後は諸手続きが多く、チェックリストがあれば。
【回答】 育児情報ファイルといっしょに配布できるように調整している。

【要望】 ボール遊びや凧揚げができる大きな公園が欲しい。
【回答】 宇治田原運動公園(住民グラウンドなど)では、ボール遊びも可能。また今後新庁舎の横に都市公園を設置予定であり活用を。

【要望】 支援センターの情報が少なく、事前にわかりやすく公開を。
【回答】 情報提供については紙媒体が中心であり十分でないという認識であるので、HP等を活用した周知に取り組んでいく。

今年の「住民と議会の懇談会」は、議会だよりNo.99で掲載しましたとおり、2月11日にワールドカフェ方式で開催しました。テーマは「子育てにやさしいまちづくり」で、子育て世代の参加者から、多くのご意見やご要望を出していただきました。内容は前号に記載のとおりです。ご意見・ご要望をもとに、各常任委員会(総務建設および文教厚生)において、対応策などを協議しました。その結果を、紙面に限りがありますので抜粋して掲載します。今年の「住民と議会の懇談会」は、①②③の経過をもって締めくくりとなりました。今後懇談会のテーマや参加対象者などについて、一層充実した取り組みとなるよう鋭意検討を重ねて実施してまいります。



一周年を迎えた交遊庵やんたん



手をあげて発言する児童 (議場見学)

まちがど
景点



願いを込めた七夕かざりを届ける子どもたち

次回議会の予定
〈9月定例会〉
9月2日(日)開会日
詳しい予定はHPIにて
お知らせします。



オープンとなった奥山田ハートフル化石広場

編集
後記

今年も異常気象の影響
があちこちで見られ、九
州等では災害級の大雨で
被害も出ています。これ
以上の災害が起きずに、
穏やかな夏が過ごせるこ
とを願っています。

さて、宇治田原町議会
だよりは、1994年(平
成6年)に創刊されて以
来、議会ごとに発行し、
今回記念すべき一〇〇号
を迎えました。ご愛読い
ただいたみなさまに感謝
申し上げます。

特集記事として一〇〇
号までの歩みを掲載しま
したが、今後もより住民
のみなさんに親しまれ
る、わかりやすい広報を
めざしてまいります。ご
意見・ご要望等、お気軽
にお寄せください。

広報編集委員 今西